

令和8年度 学力向上アクションプラン

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差			
学年	第3学年		
年度	国語	数学	合計
令和12年度の目標			
令和11年度の目標			
令和10年度の目標			
令和9年度の目標			
令和8年度の目標	0	0	0
令和7年度の結果	-3	-4	-7
令和6年度の結果	-5	0	-5
令和5年度の結果	-2	+2	0

「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和12年度の目標						
令和11年度の目標						
令和10年度の目標						
令和9年度の目標						
令和8年度の目標	0	0	0	0	0	0
令和7年度の結果	-5.5	-1.6	-4.4	-6.2	+2.7	-3.6
令和6年度の結果	-4.3	+1.9	+2.3	-2.6	+0.5	-0.7
令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度	
内容	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	【成果】 OD層の生徒を中心に外部講師による放課後補習教室を活用し、基礎・基本の定着を目指して取り組むことができた。 【課題】 外国籍の生徒が以前より各学年で増えている。日本語学級や学校での日本語指導以外での支援の必要性も感じている。	国語・数学・英語の3教科において「全国学力調査」・「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差を0以上にする。	・よむYOMUワークシートを利用して読解力の伸長を図る。 ・数学においては習熟度別少人数指導で基礎・基本の定着を図る。 ・英語の授業ではALTを活用し、スピーキング活動を充実させ、英語を話す時間を確保した授業を行う。
第1学年	【成果】 授業規律と基礎・基本の定着について繰り返し指導し、落ち着いて学習に取り組む生徒が増えた。 【課題】 学習意欲に乏しい生徒や外国籍(日本語が不十分)の生徒への支援を様々な教育活動で行い、個別指導の充実を図る。	国語・数学・英語の3教科において「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差を0以上にする。	・学力低位層の生徒を対象に外部講師による放課後補習教室を活用し、基礎・基本の定着を目指して取り組む。 ・「江戸川っ子study week」期間にドリルパークの指定課題に取り組み、ポイント獲得数による表彰を行い、学習意欲を高める。 ・家庭学習を定着させる取り組みを実施し、習慣化を図る。 ・三者面談や保護者会等で、家庭での学習状況を保護者と共有する。 ・数学単元別検定において3級合格者を80%以上となるよう、授業中に繰り返し問題を解かせ、放課後学習での底上げを図る。
第2学年	【成果】 数学においては全国の平均正答率よりも2ポイント以上上回ることができた。 【課題】 国語・英語については基礎学力は定着しつつあるが、学習内容定着の為の繰り返しの学習時間の確保が課題である。	国語・数学・英語の3教科において「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差を0以上にする。	・学力低位層の生徒を対象に外部講師による放課後補習教室を活用し、基礎・基本の定着を目指して取り組む。 ・「江戸川っ子study week」期間にドリルパークの指定課題に取り組み、ポイント獲得数による表彰を行い、学習意欲を高める。 ・三者面談や保護者会等で、家庭での学習状況を保護者と共有する。 ・数学単元別検定において3級合格者を80%以上となるよう、授業中に繰り返し問題を解かせ、放課後学習での底上げを図る。 ・ICTを活用したオンライン英会話に積極的に取り組ませ、話すことへの抵抗をなくす。
第3学年	【成果】 ・国語のA層が昨年度よりも向上した。(16.6%→30.8%) ・「国語・数学の勉強は好きですか」。「国語・数学の授業の内容はよく分かりますか」の肯定的な回答の割合が全国平均よりもそれぞれ5%以上上回ることができた。 【課題】 ・国語・数学共にC・D層の割合が50%を越えてしまっている。C・D層の生徒への基礎基本の定着の強化が必要である。	全国学力調査の結果をC・D層の底上げを行い、A・B層の割合合計を50%以上にする。	・学力低位層の生徒を対象に外部講師による放課後補習教室を活用し、基礎・基本の定着を目指して取り組む。 ・「江戸川っ子study week」期間にドリルパークの指定課題に取り組み、ポイント獲得数による表彰を行い、学習意欲を高める。 ・三者面談や保護者会等で、家庭での学習状況を保護者と共有する。